年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022　年　　4　月　　15　日
● 事　業　名　：　企業内がんコミュニテイの育成による、がん治療と仕事の両立支援・ダイバーシティの推進
● 資金分配団体　：　公益財団法人日本対がん協会
● 実 行 団 体　：　一般社団法人 CSR プロジェクト
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
①社内ピアサポーター養成研修会の企画・開催 ・企業内ピアサポータープロジェクト参加先行企業の企業内活動状況・事例などのヒアリング	・企業内ピアサポート体制の状況・コンプライアンスなどの実態をアンケート形式でヒアリング	・先行 5 社より聞き取り（2020 年 8 月完了）その後新規参加企業についても、登録メンバーについては実施していく予定	2023 年まで各年度	・5 社より聞き取り完了。新規参加企業にアンケートを実施し、研修後の活動について調査予定（2022 年度）	2

・研修内容の作成・チェックの実施	社内ピサポーターのコンピタンシーの確立		2023 年まで各年度	・主項目については完了。特に調整は必要としていない。	2
・企業内ピアサポーター養成プロジェクト先行企業との部活ミーティングの開催	・合同研修会に向けたプログラムの作成	・目標とするピアサポーターのコンピタンシーの項目策定 ・少なくとも隔月に 1 回の開催→必要に応じて招集	2023 年まで各年度	・2021 年度の研修会に向けて開催内容・参加企業の選定などについて検討会を開催した。定期開催というより必要に応じての開催およびメールでの連絡を密にしている。	2
・企業内ピアサポーター養成合同研修会の開催	・参加企業・参加者数、事前・事後アンケート調査	・目標状態：30 名プラスオブザーバー参加者　(2020 年度)→全体の参加企業数 30 社目標(2023 年)	2023 年まで各年度	・2021 年 5 月の研修においては 100 名の参加者を達成し参加企業数も 25 社と大幅に増加した。また、研修中に実施した事前・事後アンケート調査においても研修のプラスの効果を確認している。	2

・企業内ピアサポーター養成プロジェクト広報活動の一環としてのロゴマーク作成	・今後の広報展開に使用していくロゴマークの作成および商標登録	N/A	2021 年 3 月	2021 年 10 月 25 日に登録査定が完了した旨通知をうけたことから、このアウトプット項目は完了とする。	2
・外部評価委員へのプロジェクト概要説明・委員との質疑応答	・各年度ごとの活動状況の報告・概要説明・質疑応答の実施	N/A	2023 年まで各年度	2021 年度について 2022 年 1 月 19 日に外部評価委員会を開催。委員への報告、および今後の検討事項、など貴重なアドバイスを多数いただいた。(議事録参照)	2
① 中小企業・個人事業主などの情報交換ツールとしてのオンラインネットワークシステムの開発＜エピソードバンク＞の開設・運用	アクセス数・閲覧数 登録人数 エピソード件数など	月 10 件の新規エピソード→新規にこだわらず月間に 5 件以上のエピソード投稿	2023 年 3 月	2022 年 3 月末時点での閲覧数:12,610 件、 エピソード件数 46 件。投稿者の属性として、患者以外に医療従事者、家族、支援者なども対象とするよう改定を	2

				進める。また、トピックスも増やす予定。	
② 企業内ピアサポーター養成研修資材の作成。企業内研修資材はサロン・ファシリテーションの基本事項や、オンラインを活用したサポート、メールなど文字によるサポートを行う際の留意事項についても盛り込む	・発行形態によるが、動画掲載であれば閲覧数、紙媒体であれば冊子発行部数	動画：新規参加企業全社の閲覧 紙媒体：PDF での配布（参加企業申込者）	2023 年 3 月	新型コロナ感染症の影響により、対面での研修の見通しが立たないこと、今後もオンラインでの活動が増えていくことを踏まえて、まずは動画作成の方を先行させることを検討し、これまで 3 本、限定公開している。一方で紙媒体のテキストへの要望も強く＜社内ピアサポーター養成テキスト＞の作成は 22 年度に進めていく予定。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
2021 年 4 月から 2022 年 3 月末日までの活動について以下 2 つの視点で記載ください。 **① 事業の意義（成果、進捗）について具体的事例のエピソード、特に重要と思うエピソード** 社内ピアサポーターを育成していく上で、様々な角度からの追加セミナーを実施してきたが、特に好評だったのは自身の中にある無意識のバイアス（アンコンシャス・バイアス）にフォーカスしたセミナーであった。日常で何気なくがん体験者に伝えていた＜頑張って＞という言葉が、相手によっては逆に傷つくといった体験型のセミナーは驚きでもあり有意義であったと思う。こうした自分自身の中に潜む無意識のバイアスを意識できることで、ピアサポーターとしてのコミュニケーションにプラスに働くという意見を多くいただいた。 **② 外部関係者と連携や協働したことによって生まれた成果（良い変化）** ・上述のアンコンシャス・バイアスのセミナーは一般社団法人アンコンシャス・バイアス研究所のご好意で企画したものであるが、病気を持つ人とのコミュニケーションを考える上で、患者の生の声を伝えることができたのは双方にとって意義のあるものとなったと考える。 ・1 月に開催した外部評価委員会において、中小企業への働きかけについて、委員と意見交換をした際に、東京商工会議所や工業団地との連携を勧める意見が出された。その後、実際に東京商工会議所と面談の機会を得ることができ、中小企業における就労支援啓発活動への連携について確認することができたことは大きな前進であると考える。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

コロナ禍、活動の中心はオンラインとなり、ZOOM のグループミーティング（ブレイクアウト機能）や大人数のセミナー（Webinar）など、活動の用途によって使い分けていくなど工夫した。オンラインの操作はかなり慣れてきて問題なく進められるものの、オンライン上のグループファシリテーションなどは対面と違い難しく感じ今後の課題。

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☐自団体のウェブサイトで表示している　☐広報制作物に表示している
☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☑その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
がん患者さんにとって<タンポポの種>の画像はがんの転移を象徴するものなので使いにくいです。その代わりに文章で表示しています。

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

3. 広報制作物等

・エピソードバンク広報資材（全国がん連携拠点病院　がん相談支援室に送付ずみ）
・2021 年 5 月 20 日開催＜企業合同ピアサポーター養成研修＞の広報ちらし
・2021 年 10 月 7 日開催＜Be グッド・パートナーズ研修　～がんと就労～（アンコンシャスバイアス）＞の広報ちらし
・2021 年 10 月 30 日開催＜がんサバイバー就労支援＞超見える化ケーススタディ シンポジウムの広報ちらし
・2022 年 3 月 19 日開催第 4 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会　市民公開講座「AYA がん患者の就学・就労を支える」広報ちらし

3.報告書等

・2021 年 5 月 20 日開催＜企業合同ピアサポーター養成研修＞の報告書、研修時画像
・2021 年 10 月 7 日開催＜Be グッド・パートナーズ研修　～がんと就労～（アンコンシャスバイアス）＞　報告書、研修時画像、アンケート結果
・2021 年 10 月 30 日開催＜がんサバイバー就労支援＞超見える化ケーススタディ　報告書、アンケート結果

・ウェブサイト「WorkCAN's エピソードバンク」https://workcans.episodebank.com/

・2022 年 3 月 19 日第 4 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会　　アンケート結果、研修時画像

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

・2021 年 5 月 20 日開催＜企業合同ピアサポーター養成研修＞セミナー
・2021 年 10 月 7 日開催＜Be グッド・パートナーズ研修　～がんと就労～（アンコンシャスバイアス）＞セミナー
・2021 年 10 月 30 日開催＜がんサバイバー就労支援＞超見える化ケーススタディ シンポジウム
・2022 年 3 月 19 日開催＜第 4 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会＞
市民公開講座「AYA がん患者の就学・就労を支える」

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：特に変更がなかったため

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☐内部監査を実施　　☑外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）